

平成31年度学校自己評価システムシート (県立大宮工業高等学校 定時制課程)

目指す学校像	心豊かな人間を育成し、生徒の夢を実現する学校
--------	------------------------

重点目標	1 仕事と学校生活の両立を支援し、基礎学力の向上を図る。
	2 基本的生活習慣の確立を図る。
	3 自己の適性を知り、希望進路を実現する。
	4 地域社会に根ざした学校づくりに努める。

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	2名
	生徒	7名
	事務局(教職員)	8名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価							
年 度 目 標			年 度 評 価 (2 月 5 日 現 在)				
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度 次年度への課題と改善策	
1	【現状】 学習面に課題を抱えている生徒が在籍している。 【課題】 学習意欲が育っていない生徒が存在し、基礎学力の差が大きい。	基礎学力の向上を図る授業改善	生徒アンケートや実力テストを通じて、その結果を分析・検討することで、生徒の状況を正確に把握し、基礎学力を定着させるための授業改善を図る。	アンケートによる生徒の授業に対する満足度が上がったか。	生活アンケートによる生徒の授業に対する満足度が高い生徒は、84%(H30は89%)と減少が見られた。	B	8割が満足度の高い生徒だが減少傾向にある。結果分析を効果的に用いると共に、積極的な観察や協議を行い、授業改善に取り組む。
		学習意欲を高める	①成績不振者や出席状況が良くない生徒へ家庭と連携を密に取り、個別に方策を作成する。年次での計画的な小テストの実施を図る。 ②ICTやALなどを対象としたより実践的な授業研修会を実施する。	成績不振者が減少したか。	①成績優良者34%(H30は31.7%)と増加であった。また成績不振者も30%(H30は26.8%)と増加しており学力差が開く結果となった。 ②整備されたタブレット端末に関する研修会を全教職員対象に実施した。	B	成績優良者の増加、成績不振者も増加から生徒の学習意欲に開きが見られる。教職員への研修会の内容充実と理解定着へ向けた各年次や授業での継続的な補習や小テストの実施を図る。
2	【現状】 基本的生活習慣が乱れている生徒や社会のルールを遵守できない生徒がいる。 【課題】 担任を中心とした学校と家庭の密な連携による指導の充実。	基本的生活習慣の具体的な把握及び確立を図る取組	①学校生活のあらゆる場面で積極的に「声かけ」・「挨拶」を継続すると共に、生徒の生活状況について調査・把握を行う。 ②遅刻者の傾向を分析した上で、欠席・遅刻を未然防止できる取り組みを実施する。	①生徒アンケートにより生徒の挨拶に対する意識が向上し、挨拶が増えたか。 生徒の平均的な生活状況を把握できたか。 ②欠席・遅刻での指導生徒が減少したか。	①生徒会生徒を交えてのあいさつ運動の実施などを通じて、生徒アンケートで「挨拶ができる」と答えた生徒は88%(H30は93.2%)であった。 ②遅刻生徒の生活状況を把握した上で面談指導を計画的に行い、5人中4人の改善が見られた。	B	①SCを交えての情報共有会の更なる充実を図る。 ②LHR等を通じて、遅刻・欠席に対する学校全体の意識向上を図る取り組みを実施する。
		5S活動(整理・整頓・清潔・清掃・躰)を意識した規範意識の醸成	①5S活動を心がけることで、より充実した学校環境をつくる。 ②定期的な巡回指導・校門指導の実施及び家庭との連携により、問題行動を防止する。	①5S活動を理解し、自ら取り組む意識が醸成されたか。 ②生徒指導案件の数は減少したか。	①教室掲示や給食前の手洗い、SHR後の整頓や社会体験活動での職場見学を通じて、各HRで5S活動について伝えたが、醸成へは課題が残った ②生徒指導の件数は、6件(H30は4件)昨年度より2件増加した。	B	①5S活動について、教職員及び生徒の意義や知識・理解をより深める活動を行う。まず整理、躰の2項目において重点化を図る。 ②巡回指導の強化に加え、自己防止に関する生徒意識の向上を図り、生徒指導案件を減少させる。
3	【現状】 自分の適性がわからず、進路の目標を見出せずにいる生徒が多い。 【課題】 生徒の発達段階と適性に合った進路目標の設定と実現。	発達段階と適性に合った進路目標の設定	①定期的な進路アンケートの実施と、県事業を活用した進路指導を実施する。 ②全年次において進路ガイダンスを実施する。	①進路アンケートにより年次ごとに、自分の適性、能力を把握できたか。 ②就職での業種区分及び進学での専攻分野を理解できたか。	①②生徒アンケートの項目を細分化した。結果から「卒業後の進路」が「わからない」の生徒が1回目29.8%から2回目は28.4%へ減少した。進路ガイダンスや社会体験活動の実施により明確な自身の進路を考える機会を増やすことができた。	B	①「卒業後の進路」が「わからない」の生徒を25%以下へ減少させるよう積極的な生徒への情報提供を行う。 ②全年次で実施する進路ガイダンスの内容精査を行う。
		進路決定率100%の継続	①社会人基礎力(特に発信力・傾聴力・柔軟性)を身につけさせる機会(授業内等)の充実を図る。 ②進路実現に向けて就職者・進学者を対象とした計画的な補習等の指導を実施する。	①課題研究・授業・LHRを含め、社会人基礎力を育成する機会を複数回設けられたか。 ②進路決定率100%が実現できたか。	①年間2回のSST・社会体験活動・課題研究発表会に加えて各年次や授業においても社会人基礎力に焦点を当てた活動が複数回設けられた。 ②専門学校への進学における結果待ちの生徒1名を除いた全員の進路が確定した。	B	①各年次の発達段階に応じた身につけさせたい社会人基礎力の精選を図る。加えて各年次のSHRで実施するなど育成する機会の増加を図る。 ②進路意識向上を図る取り組みの回数増加を図る。
4	【現状】 地域との連携が育ちつつあるが改善の余地がある。 【課題】 有効な学校情報の内容と発信方法の検討を進め地域における学校理解を更に深める。	学校情報の発信	①HPの更新を週1回行い、さらに新しい資料を作成し、学校情報の発信を行う。 ②地域の行事等に参加する。	①地域、小・中学校に最新の学校情報を発信できたか。(H29年度61回) ②地域の行事等に参加できたか。	①HPでは38回(H30は60回)の発信を行うことができた。各学期末に地域への定時制便りの配布を継続して行うことができた。	B	①HPへの掲載と定時制便りの内容の充実を図る。HPへの定時制の概要掲載を行う。 ②地域の行事への参加に際して、自治会との情報交換を積極的に行う。
		地域の小中学校との連携	中学校訪問や中学校教員向け説明会により情報交換を行うと同時に、地域住民・小学生を主な対象に親子木工教室等を実施する。	地域の小中学校との情報交換に努め、地域を取り込んだ行事・親子木工教室等が実施できたか。	学校説明会や体験入学の安定した実施に加え、5名(H30は3名)が母校訪問を行い、中学校と密な情報交換を行った。産業教育フェアに参加し、組子細工の製作体験を実施した。	A	母校訪問の定着化と産業教育フェアの安定した参加に加えて、各学校への宮工祭の案内配布など、小中学校との交流を深めるための方策を1つ実施する。

学 校 関 係 者 評 価	
実施日	令和2年2月26日
学校関係者からの意見・要望・評価等	
<ul style="list-style-type: none"> アンケートにおいて他校と比較があるとより正確な把握を行うことができる。 小テストがあると生徒にとっては、学習に取り組む機会に繋がりがやすい。 目標(KGI)や指標(KPI)に沿ってアンケートの意義、質問項目、活用の仕方を検討するとより効果的になる。 	
<ul style="list-style-type: none"> 生徒自身へ何かあると教職員がすぐに声をかける体制が整っている。今のまま優しい気持ちと時折の厳しい面を持って取り組んでほしい。 5S活動については、自分の使う机をキレイにする。どこかを掃除しないといけないという意味では無い。身近なところ、できるところから取り組むことから働きかけを行うと良い。 以前と比較して、目的意識の変化や学校行事への積極的な参加など落ちつきや定時制のイメージの変化が見られる。 	
<ul style="list-style-type: none"> 生徒の進路希望について、保護者はあまり聞くことができない状況がある。学校での進路アンケートの結果などを面談や通信等で知ることができるとより家庭内でも話することに繋がる。 1年次と4年次、2年次と3年次の傾向が似ているため、年次の属性を把握した上で進路ガイダンスの内容等を検討できるとよい。 	
<ul style="list-style-type: none"> HPは普段より見ているが、生徒の顔などではなく、楽しい状況に加えて、授業風景など普段の活動を挙げてもらえる嬉しい。 文化祭においては、飲食の関係だけでなく、教職員とPTAでのイベントを実施してみることも良い。 	

